

# 關西保育界の視察 (承前)

城東幼稚園長 山 邊 知之

岡山の次ぎには大阪へ参りました。まづ東區の安土町の愛珠幼稚園を參觀しました。愛珠幼稚園のあるところは東京で申せば日本橋と言つたやうな場所で、目貫きの土地であります。

私が愛珠幼稚園で驚いたことは遊戯室の大きいことでありました。遊戯室だけの總建坪が六十三坪とか聞き及びました。天井も高く、床から二十尺もあるのでありますから、廣々として、ゆつたりした感じを與へます。私が愛珠へ行つた日は丁度お雛様の飾つてある日でありました。幼兒の席は半圓形に拵へられ、各自の幼兒の前に本膳が据ゑてありました。而して四人の幼兒が甲斐々々しくお赤飯のお給仕をして居りました。その時の可愛らしい光景は今でもまの邊り見るやうな氣が致し

ます。こんな風に雛祭の賑かに、睦じさうに行はれて居るのを見て、私は誠にいゝ心持でありました。愛珠では此の愉快な雛祭りを見せていたゞきましたので、平生行はれる所の保育の實際を見ることは出来ませんでした。とにかく、愛珠幼稚園に於ては私は非常に愉快でありました。その日の私の氣分にも依つたのでありませうが、私は愛珠幼稚園に於ける幾分時かを暖かい、美しい、ふうわりとした心持を懷いて過したのであります。何だかもう一度お訪ねしてみたいやうな氣がします。これは確かに愛珠幼稚園の空氣が暖かく、美しくふうわりとして居るからに違ひないと私は今になつて思つて居るのであります。

愛珠幼稚園の稲葉先生は非常に徳望の高い方で

ありまして、大阪市中の保母の中で第一の待遇を受けて居られます、何でも小學校長に匹敵する位の額を得て居られるとか聞き及びました。而して愛珠幼稚園といふ一つの園の爲めに七千餘圓の經常費が計上されて居ります。而して現在の園舎は明治三十七年に八萬六千圓を費して作られたもので總檜木造りであります。私は斯くまで裕かに保育のために計上されてゐる愛珠幼稚園を羨ますには居られませんでした。

次に參りましたのは江戸堀幼稚園であります江戸堀といつたら皆さんは直ぐに膳さんを思ひ出されるであります、それ程に江戸堀幼稚園の膳先生は有名な方であります。江戸堀幼稚園は愛珠幼稚園とは打つて變つたきたなさであります。小學校の附屬になつて居りまして、薄汚い建物でありますから、一寸した外観だけでは江戸堀の眞價は味はれません。

江戸堀で嬉しかつたのは、人の態度であります、

研究の有様であります。殊に膳先生に御面會して私の心持は一層爽かになりました。この幼稚園には實によく自然が取り入れてありました。出来るだけ多くの自然物が應用されて居りました。尙額の繪も飾も植物等を以て作られたものであります。膳先生は繪がお上手ですから、何處の黑板にも繪が描いてあります。梅の繪、福壽草の繪、どの黑板にもスキがありません。私は

「黑板をよくおつかひですね」

と申しますと、膳先生は

「七年前までは、私は畫といふと手が動きませんでした。しかし黑板を十分に利用するためには、何うしても自分から繪が描けなくては仕方がないと思ひましたので、繪のお稽古を始めたのであります。それでこの頃では、何うやら、皆自分で描くやうになりました」

私はこの一事を以てしても膳先生の幼兒保育に御熱心であることを十分に知ることが出来ると思

ひます。膳先生は自然を應用している／＼なものを  
お作りになることが非常にお上手であります。  
貝やどんぐりや鑛物破片等を合せて巧みにお雛様  
や何かを拵へられるのであります。

斯ういふ風に膳先生が先へ立つて働かれるため  
に江戸堀幼稚園の成績は實によく擧るるのでありま  
す。膳先生は口の人ではなく、實行の人であると  
いふことを強く感じさせられました。

江戸堀幼稚園では糸かゝりを大部やうて居られ  
ました。大分面白くかゝつたのがありました。糸  
かゝりは東京の幼稚園ではもう止めて了つた園も  
あるやうですが、工夫の仕方によつてはいくらで  
も應用の利くものなのでありますから、もつと盛  
んに行はれるやうにしたいと思ひます。

江戸堀幼稚園は園舎こそ汚けれ、活動力に充ち  
満ちた努力の園であります。私は最後に遊戯室に  
案内されました、こゝでも矢張土川先生の律動的  
遊戯を行つて居りました。ピアノを演奏してゐた

方は土川先生がおいでになつた時彈奏された方だ  
さうで、土川先生の呼吸をかなり飲み込んで居ら  
るゝやうに見受けました。

最後にこの園で驚かされたことは「松毬拾ひ」で  
ありました。そのお話をするには「松毬拾ひ」と  
いふ遊戯を説明しなければなりません。先づ二つ  
の籠の中に松毬が入つてゐます。これを零してそ  
の邊一帶にまきちらします、幼兒は手早くこれを  
拾つて籠の中に入れます。「松毬拾ひ」はこれで終  
りますが、これに附屬した遊びが却々面白いので  
あります。拾ひ集めた松毬は二つの籠の中に入れ  
られます。而して二つの籠の中にある松毬を目分  
量でほぼ同等にして置きます、而してどちらが重  
いかといふことを幼兒各自に試みさせます。幼兒  
は籠を提げてみて、左の籠が重いと思つたものは  
左側に整列し、右の籠が重いと思つたものは右側  
に整列します。私の拜見しました時には左の籠の  
方を重しとするものが大勢で、右を重しとするも

のは四五人しかありませんでした。私にも試してみらやうにとのお話でしたから、やつてみました。私にはどちらが重いか薩張り分りませんが、方とも同じやうな重さに感ぜられました。そこで私は何でも賛成者の多い方がいゝのに違ひないと思つて左の側に立つて濟してゐました。あとで秤で量つてみましたら、果して左の籠の方がほんの少し重くありました。そこで左の籠から松毬を一つ除いたら秤は水平になりました。松毬一つの重さはいくらありませう、幼児はこの微妙な軽重の差を辨別することが出来たのであります、私はひそかに舌を捲いたのであります。またこの遊びは意志の鍛練の爲めに非常によいと思ひます。自分の信する所に従つて、左側へ立つ大勢の幼児を物ともせず、斷乎として右側へ立つた幼児は實に頼もしいと思ひます。

それから次ぎに見せていたゞいた遊戯は午年だからといふので木の煉瓦でお馬をつくる遊戯であ

りました。先づ男兒と女兒とが一組づゝになつてぐるりと輪を作つて居ります。「始め」の合圖と共に女兒はかけて行つて、近くに積んである木の煉瓦を運んで來ます、男兒は女兒から受取つた木の煉瓦を以て速かに馬を組み立てるのであります。批評めいたことは一切抜きにして、この遊びも協同一致の精神を養成するには至極の思ひ附であると思ひます。

次ぎには御津幼稚園へ參りました。この園にも小山先生といふ立派な園長さんがいらつしやいます。私が參つた時には幼兒は厚紙の細工を熱心によつて居りました。こゝでは古葉書を利用していろ／＼な立體、例へば著音機とか家とかいふやうなものを作らせるのです、材料だけ渡して何でも幼兒の思ふ通りのものを拵へさせるといふやうな遣り方だつたと思ひます。御津幼稚園には特別の施設がありましたので、私の旅行の目的の爲めに詳しく調べさせて頂きました。この園の現在の設

計は小山先生より三代前の園長をして居られた御津小學校長の手によつてなされたのださうであります。この園が建築落成して開園式の行はれた頃の模様、一番始めの園長さんが今も尙一年に兩三度は必ず園を訪れなまつて、庭へ椅子を持ち出し園舎の模様、さては幼児の嬉戲する様を如何にも楽しさうに、而して又感に堪へぬと言つたやうな面持で眺め入つて居られるといふことをうかがつて、私は實に何とも言へない氣が致しました。この愛に充ちた園長さんの記念のために現在の園舎は朽ちるまでは現在のまゝで保存されることを他人の私すら只管望まざるを得ないのであります。

御津幼稚園を參觀した後には汎愛幼稚園へ行きました。こゝは又園舎も結構に出来て居ります。器具器械がよく揃つて居ります、遊園の設備は一層よく、池があり、噴水があり、瀧があります。而して鶴こもろが悠々徘徊して居ります。この園ではすべての飼ひ物にやる餌の代だけが一ヶ月十圓を要

すのお話でした、私の園では一ヶ年の備品費が百圓といふことになつて居ります。不躰かも知れませんが私は報告書へこのことをチャンと書いて置きました。大阪が豊かすぎるのかも知れませんが、東京は何と言つても是等の點は貧弱と言はざるを得ません。大阪には市立幼稚園が三十二あつて、その幼児數は六千五百人であり、我東京市は市立幼稚園が十六で幼児數は僅かに一千九百人に過ぎません、此の幼稚園の豫算は年額十一萬餘圓であります。是等の數字に鑑みても二百萬餘の人口を包容する東京は百六七十萬の人口を包容する大阪に比較して保育上發達の餘地を多分に殘して居ると言はなければならぬと思ひます。

(文責在記者)